



国際交流員のページ

ワン ワールド  
ONE WORLD...

世界“和”ひとつ



anton まりお 眞理雄です。ONE WORLDという名前に基づいて世界各国の文化、習慣、問題などに少しずつ触れながら広報を通して報告しています

## 感謝

ついにこの日が来てしまったかという心境です。皆さんももうご存知だとは思いますが、私の国東市国際交流員としての任期が終了しました。よって、今月号がONE WORLD最終号になります…。私は2年前に旧国見町の国際交流員として着任し、4月の合併以後国東市の国際交流員として勤務しています。国際交流員として大分県へ派遣されるまでは九州、ましてや大分のことはまるで知りませんでした。私の知っている大分といえば別府温泉ぐらいで、限られていました。しかし、日本全国多々ある国際交流員配置先で私が大分県国見町に派遣されたことはやはり何か引き寄せられる力があつた、つまり何かの縁だったのだな、と今振り返り思います。

国際交流員として、各地の保育園・幼稚園での触れ合い活動、小学校の総合学習の時間を活用し「地球人学習」、国見での英会話教室、スペイン語教室、そして各地での講演会…様々な方法でいろいろな人と触れ合う機会に恵まれました。そのお陰で私は国見町、そして国東市の本質というものに触れることができたと考えています。高齢の方たちと話すことによって得ることができる彼等のまちへの想いや希望、子どもたちの眼差しで感じとることができるまちの未来。ここを離れても世界の様々な地域で人と携わりたいと思いますが、国見町・国東市ほど地域にのめり込んだ活動はできるのかと多少不安な

気持ちもあります。それだけ、私のこの町での国際交流員としての経験は貴重かつ重要なものです。

大分県にやってくる前も各地でいろいろな別れがありました。その結果、すばらしい出逢いも生まれました。別れ・出逢いというものは相互に支えられていて互いに人生最大の喜びを招くこともあれば、悲しみを招くこともあります。そして、人間を新たな分岐点に立たせ、創造する能力を引き出してくれることもあります。

この世の中には永遠の別れもある中、同時に関係を永続できる別れもあります。こういった永続可能な別れはすばらしいことに人間の意志でコントロールされています。その“出逢い”のすばらしさを感じることができた人間は、様々な方法をとおしてその出逢いを生かそうとします。場所が変わるから“出逢い”が無くなるわけではなく、歩む道が変わるから“出逢い”が無くなるわけではありません。“出逢い”は人間の意志で生かされ、また人間の意志で呼吸を失います。私は国見・国東との出逢いをこれからも生かしていくつもりです。ここで強まった世界平和への気持ち、ここで再確認した人の温かさ、ここで発言することができた地球人としての想い、ここで見た子どもたちの目…いままで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします！



▲オレンジ保育所の園児たちとの交流



▲ハートビート講習会



▲巨大サンドウィッチ作り大成功

今月の一言



「生きているうち、はたらけるうち、日のくれぬうち」

相田みつを

ご意見・ご感想・連絡先 アンTON眞理雄 E-mail: peacestrictly@mac.com

※「広報くにみ」に掲載した「ONE WORLD」1～19号を希望される方は、ご連絡ください。